

各 位

会 社 名 ポラリス・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 梅木 篤郎
 (コード番号：3010 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役兼最高財務責任者 細野 敏
 (TEL:03-5822-3010)

新株予約権の行使及び資金使途の変更に関するお知らせ

2021年11月24日付で割当を実施いたしましたポラリス・ホールディングス株式会社2021年第1回新株予約権(以下「本新株予約権」という。)について、割当先であるStar Asia Opportunity III LP、マルコム・エフ・マククリーン4世及び増山 太郎から、本日付で本新株予約権の行使に関する通知を受領いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は本新株予約権の行使により取得する資金につきまして、2022年10月15日付「第三者割当による新株式(総額28億円)及び2021年第1回新株予約権及び2021年第2回新株予約権の発行(総額31億円)並びに割当契約の締結に関するお知らせ」にて開示した資金の使途を一部変更することを取締役会決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本新株予約権行使の内容

① 新株予約権の名称	ポラリス・ホールディングス株式会社2021年第1回新株予約権	
② 行 使 日	2022年9月26日	
③ 行使を行った者	Star Asia Opportunity III LP マルコム・エフ・マククリーン4世 増山 太郎	
④ 行 使 個 数	Star Asia Opportunity III LP 137,150 個(累計行使個数:241,802 個、行使後残存個数:0 個) マルコム・エフ・マククリーン4世 5,813 個(累計行使個数:5,813 個、行使後残存個数:0 個) 増山 太郎 5,813 個(累計行使個数:5,813 個、行使後残存個数:0 個)	
⑤ 交 付 株 式 数	Star Asia Opportunity III LP	13,715,000 株
	マルコム・エフ・マククリーン4世	581,300 株
	増山 太郎	581,300 株
⑥ 行 使 価 額 総 額	1,279,473,600 円	

※ 本新株予約権の行使による発行済株式総数及び資本金の額の推移

行使前の発行済株式総数102,041,589株

(行使前の資本金の額549,997,794円、資本準備金の額450,997,794円)

行使による発行株式数14,877,600株

(増加する資本金の額641,150,173円、資本準備金の額641,150,171円)

行使後の発行済株式総数116,919,189株

(行使後の資本金の額1,191,147,967円、資本準備金の額1,092,147,965円)

なお、本新株予約権に関する詳細につきましては、2021年10月15日付「第三者割当による新株式（総額28億円）及び2021年第1回新株予約権及び2021年第2回新株予約権の発行（総額31億円）並びに割当契約の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 資金使途の変更

(1) 変更の理由

当社は、2021年10月22日付「新株式及び新株予約権の発行による資金調達に関わる説明資料」に記載のとおり、2021年12月末時点の4,515室であった運営客室数を、2024年3月末までに6,396室へと42%増加させることを含めた運営プラットフォームの拡大を成長戦略の一環として掲げ、2021年11月24日を割当日として発行いたしました新株式及び新株予約権により取得する資金5,766百万円を当社グループにおいて新規ホテル物件の取得のための資金及び新規ホテルの出店のための資金に充当することとしておりました。

当社グループでは、本資金調達以降、当社の成長戦略に基づきホテル物件の取得、新規ホテルの開業を行い、2021年12月10日付「フィーノホテル札幌大通の購入に関するお知らせ」、2022年4月28日付「6店舗のホテル運営委託契約の締結並びに売上保証契約の締結及び開業準備金の受領に関するお知らせ」及び2022年6月24日付「新規ホテルの運営受託並びに売上保証契約の締結及び開業準備金の受領に関するお知らせ」に記載のとおり、着実に目標とする運営プラットフォームの拡大を達成し、国内運営客室数を5,682室へと増加させました。更に、2022年7月26日付「フィリピン共和国の大手宿泊特化型ホテル保有運営企業グループの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」及び2022年7月28日付「フィリピン共和国の大手宿泊特化型ホテル保有運営企業の株式の取得（子会社化）に関する覚書締結のお知らせ」に記載のとおり、新たに海外のホテル運営会社の買収を進めており、両買収案件完了時には運営客室数は8,135室、2021年12月末比80%の増加となり、2024年3月末までに6,396室へと拡大するという目標を大幅な前倒しで達成することとなります。

当社グループでは、運営プラットフォームの拡大として掲げていた2024年3月末までに6,396室という目標を達成したことから、今後も更なるホテル運営プラットフォームの拡大を継続するとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大やそれに伴う行動制限、渡航制限等の影響を受けやすいホテル業において、当社グループホテルにおける財務基盤の安定化及び着実な収益拡大を目的として、新株予約権の行使により取得した資金の一部、1,161百万円を「(2) 変更の内容」のとおり、ホテル事業における今後の運転資金とすることといたしました。

(2) 変更の内容

資金使途の変更内容は、以下のとおりとなります（変更箇所は下線で付しております）。

【変更前】

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
新規ホテル物件取得及び新規出店資金	<u>5,766</u>	2021年11月～ 2024年3月
合計	5,766	—

【変更後】

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
新規ホテル物件取得及び新規出店資金	<u>4,605</u>	2021年11月～ 2024年3月
<u>運転資金</u>	<u>1,161</u>	<u>2022年9月～</u> <u>2023年3月</u>
合計	5,766	—

(3) 今後の見通し

当期の業績への影響につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり現時点では未定です。また、連結業績予想につきましても、2023年3月期における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、当社グループの事業活動に与える影響を現時点で合理的に予測することが困難なため、業績予想の開示は見送らせていただいております。なお、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

以上